

金型設計から加工まで ものづくりの3要素揃う

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



精密加工が可能な生産設備

業務内容 組立まで一貫生産体制 品質にこだわり製造

「信貴精器」は自動車の電装部品や、電子部品製造装置向け部品など、さまざまな分野の精密加工で実績を積んできた企業。工法提案を含めた設計や試作品づくりから部品加工、組立までの一貫生産体制を敷き、短納期化に成功していることが特徴だ。必要に応じてクリーンルーム内で組み立てるなど、品質へのこだわりも大きい。

金属加工では、チタンなどの高硬度難削材を含むほとんどの素材の加工に対応。樹脂加工も手がけ、金型の設計から製造・加工までを一貫して行い、顧客からのどのような注文にも応えるという姿勢を貫いている。

強み 超精密レベルの技術を 熟練スタッフが支える

同社の加工技術の水準は、サブマイクロメートル（1,000分の1mm以下）の超精密レベル。それを可能とするのが、豊富な製造設備と熟練スタッフの腕だ。製造拠点は本社、本社第2工場、本社に隣接するテクノセンターと高知工場（高知県宿毛市）の4カ所。各拠点で最新機器が稼働している。また、各製造拠点には最新機器を使いこなす熟練スタッフを配置。彼らの多くが作業歴20年以上の熟練者であり、30年以上という超ベテランも在席している。品質管理も厳格で、すべての加工部品や金型において製品測定を実施することにより、確かな品質を保証する。

設備強化 設備の積極投資に加え 生産設備の自社開発も

長澤徳博社長が「昨年だけで4台ほどのマシンニングセンター（MC）を導入した」と

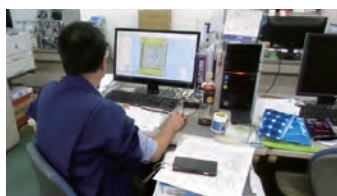
話すほど、コンスタントに高水準の設備投資を実施。マシンニングセンターのほか、NC（数値制御）旋盤、放電加工機から、3次元測定機をはじめとする検査測定機器に至るまで多様な設備を揃えている。CAD/CAMのオンライン化やコンピューターによる製造管理などのデジタル化も、早い段階から進めてきた。近年では製造設備の自社開発も行っており、その一つに樹脂会社との連携で開発した「特殊樹脂専用塗布装置」がある。ポリウレタン樹脂という特殊樹脂を吹き付けるのに適した専用塗布装置となっており、それにより製品の長寿命化を果たす狙いだ。

今後の展望 あらゆる素材に対応し 顧客の期待に添う企業へ

すでに豊富な製造設備を保有している同社だが、今後も継続した設備投資でよりいっそう、製造技術を向上させる。現在、電子部品メーカーから受けている電子部品製造の依頼により、より精度の高い加工が可能なマシンニングセンターを数年以内に導入する予定だ。また、今後もチタン、シリコン、超硬合金、ゴム、セラミックなど、あらゆる素材の加工に対応するという姿勢を貫き、「低コスト・短納期・高品質という、ものづくりに欠かせない3つの要素が揃った企業として、お客様の期待に応えていきたい」としている。



本社外観



CADを使った設計風景

当社の歴史



昭和49年に父が創業しました。当初はライター用の金型を製造していましたが、需要が減ったため半導体の金型製造に乗り出しました。しかし、この半導体関連の仕事も2000年代初頭のITバブル崩壊で激減。特定の製品に偏るべきではないと事業内容、納入先を広げて現在に至っています。

代表取締役 長澤 徳博さん

<http://sigiseiki.jp/>

主な事業内容

各種精密金属加工、樹脂の金型からの成形・加工など

主な取引先(納入先)

半導体装置メーカー、自動車部品メーカー、電子部品メーカー、繊維・化学メーカー

- 住 所 〒581-0851 八尾市 上尾町4-1-3
- TEL 072-997-8355
- FAX 072-997-2892
- 創業 昭和49年8月
- 設立 昭和51年8月
- 資本金 8,000万円
- 従業員 83名